

平成28年度第2回情報資料室資料展

「被爆詩人・峠三吉 日記からみる1945年」を開催します

広島平和記念資料館では、次のとおり資料展「被爆詩人・峠三吉 日記からみる1945年」を開催します。「ちちをかえせ、ははをかえせ…」の冒頭で知られる『原爆詩集』の著者、峠三吉氏の日記2冊が、平成28年8月に日本共産党中央委員会より寄託されました。寄託されたのは、昭和20年1月1日から11月19日までの被爆日記と、昭和20年8月から9月に書かれた随意日記です。これらの日記をもとに、のちに『原爆詩集』が出版されました。

今回の資料展では日記2冊を中心に、被爆前の峠三吉氏の生活、被爆時の惨状をパネルで紹介します。

場所

広島平和記念資料館 東館地下1階

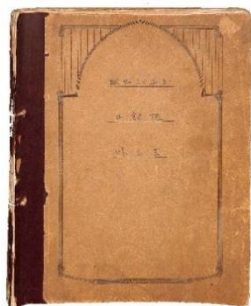
期間

平成29年3月30日(木)から平成29年7月17日(月)まで

展示資料

パネル20枚(情報資料室前廊下壁面)

峠三吉氏の関わった書籍、日記内に登場する絵(情報資料室)



「被爆日記」

日本共産党中央委員会寄託



「随意日記」

日本共産党中央委員会寄託

問い合わせ先

広島平和記念資料館 学芸課 情報資料室

電話 082-241-4004